

南知多町地域公共交通活性化・再生協議会 会議日程

日 時 令和8年1月9日（金）
午後2時00分から
場 所 南知多町役場3階 大会議室

1. あいさつ

2. 報告事項

(1) チョイソコみなみちた中間報告 **【資料1】**

(2) 日間賀島ぐるりーバスについて **【資料2】**

(3) 町民感謝デーの利用状況について **【資料3】**

3. 議題

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価等について **【資料4】**

(2) 地域公共交通計画の評価等結果（案）について **【資料5】**

(3) 南知多町地域公共交通計画に基づく施策案 **【資料6】**

南知多町地域公共交通活性化・再生協議会委員名簿

令和7年7月31日

(敬称略・順不同)

No.	区 分	役 職 名	委 員 名
1	(1) 住民又は利用者代表	社会福祉協議会事務局長(監事)	熊本 弘範
2		内海地区区長会長(副会長)	竹内 文仙
3		豊浜地区区長会長	森田 好二
4		師崎地区区長会長	齋藤 恵吾
5		篠島地区区長代表	福林 満幸
6		日間賀島地区区長代表	鈴木 康信
7		南知多町まちづくり協議会会長	二宮 達好
8		南知多町観光協会会長	鈴木 甚八
9	(2) 学識経験を有する者	学識経験者	樋口 恵一
10	(3) 町 議 会	南知多町議会議長(離島代表)	鈴木 浩二
11		地域公共交通対策特別委員会委員長	石垣 菊蔵
12	(4) 自動車輸送事業者	レスクル(株)代表取締役	鶴田 誠
13	(5) 定期航路事業者	名鉄海上観光船(株)取締役総務部長兼運航営業部長	吉見 文宏
14	(6) 鉄道事業者	名古屋鉄道(株)地域連携部 交通サービス担当課長	高井 勇輔
15	(7)	愛知県バス協会	公益社団法人愛知県バス協会専務理事
16		愛知県タクシー協会	愛知県タクシー協会知多支部長 (名鉄知多タクシー(株))
17	(8)	レスクル(株)運転手代表	坂下 友太
18		名鉄知多タクシー労働組合執行委員長	大原 友則
19	(9)	全日本海員組合	全日本海員組合名古屋支部長
20	(10)	国土交通省	国土交通省中部運輸局海事振興部旅客課長
21	(11)		国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官
22	(12)	半田警察署	半田警察署交通課長
23	(13)	愛 知 県	愛知県都市交通局交通対策課担当課長
24	(14)		愛知県総務局総務部市町村課地域振興室長
25	(15)		愛知県知多建設事務所維持管理課長
26	(16)	南知多町	南知多町長(会長)
27	(17)		総務部長(会計)
28	(18)		建設経済部長
29	(19)	町長が認める者	日間賀島観光協会会長
30	—	オブザーバー	美浜町地域戦略課長
31	—		内海高等学校校長
—	事務局	防災交通課長	山下 哲矢
—		防災交通課 副主幹	内田 健二
—		防災交通課 主事	大岩 陽

チョイソコみなみちた中間報告

①集計期間

令和7年9月16日～令和7年11月30日

②登録利用状況（前回比較）

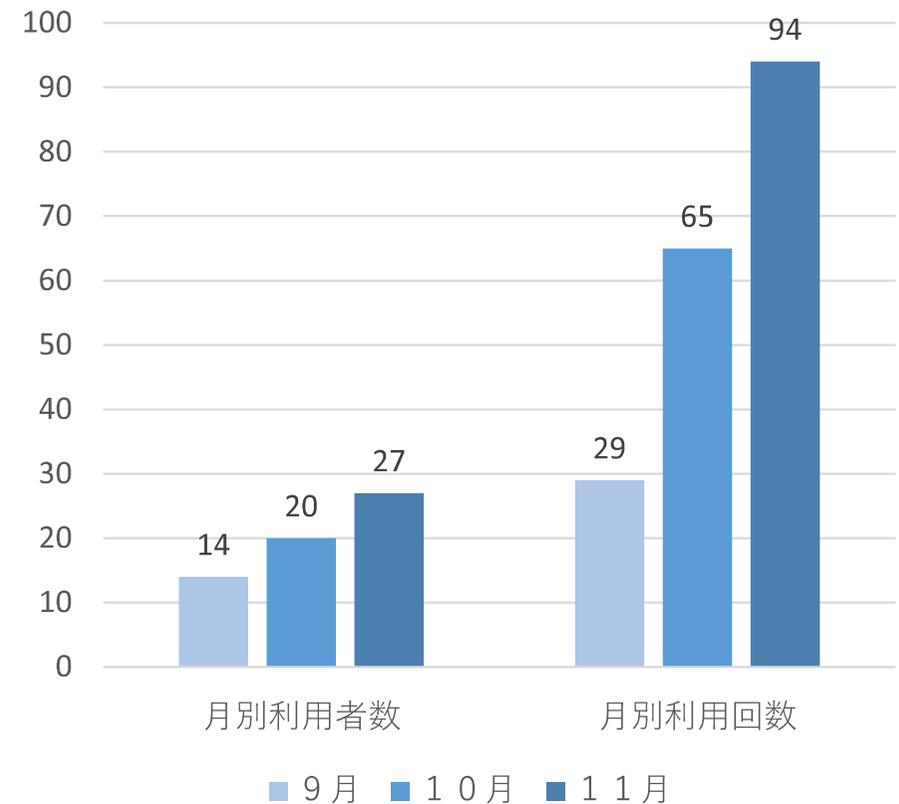
	令和3年	令和7年
運 行 期 間	令和3年12月15日～ 令和4年1月16日	令和7年9月16日～ 令和8年1月30日
対 象 地 域	豊浜・師崎地区	豊浜・内海地区
運 賃	無料	1乗車400円
登 録 者 数	141人	236人
利用回数（月平均）	194回	76回

利用状況詳細

地域別利用状況 11月30日時点

	登録者数	利用者数	利用回数
内海	97人	23人	99回
山海	34人	4人	13回
豊浜	43人	11人	56回
豊丘	17人	2人	5回

月別推移



③課題別評価

1.交通空白地の利用者

	内福寺	小野	岩屋	初神
75歳以上人口（人）	40	22	41	73
75歳以上を含む世帯数（世帯）	33	22	32	53
75歳以上のひとり世帯数（世帯）	11	3	8	14
登録者数（人）	8	2	1	3
利用者数（人）	1	0	0	1
利用回数（回）	1	0	0	2

評価

想定よりも利用が少なかった。
公共交通がないため車に頼らざるえない現状。

2.内海サービスセンターが目的の利用者

登録者数 (内海・山海)	利用者数	利用回数	目的地	利用者数	利用回数	利用割合
131人	27人	112回	内海サービスセンター	2人	5回	4.5%

評価 利用者は限定的。
行政サービスの観点から何らかの支援の必要性ありと考える。

3.路線再編により移動が不便になった地域

登録者数 (豊浜・豊丘)	利用者数	利用回数	目的地	利用者数	利用回数	利用割合
60人	24人	56回	旧豊浜線沿線	20人	47回	83.9%
			それ以外	8人	9回	16.1%

評価 旧豊浜線沿線が目的地の利用者が約**84%**。
海っ子バス停留所近辺の利用者が多い傾向。

「日間賀島ぐるりーバス」の実績について

「日間賀島のぐるりーバス」につきまして、下記のとおり今年度の実績を報告します。

【運行概要】

運行主体	一般社団法人 日間賀島観光協会
車両数	バス（29人乗り）1台 ※元年度は25人乗り
運行区間	日間賀島地内 4.6km【循環型】
運賃	1乗車大人 200円 小人 100円（未就学児は無料）
運行回数	1日13便

【運行実績】

	令和6年度実績	令和7年度実績	増減
運行期間	7月20日から8月25日	7月19日から8月24日	—
走行キロ	2,213km	2,153km	▲60km
運行回数	481回	468回	▲13回
運行日数	37日間	36日間	▲1日
運送収入	895,520円	1,275,500円	379,980円
乗車人数	8,775人	7,219人	▲1,556人
総事業費	1,202,248円	1,345,647円	143,399円
自己負担額	307,168円	70,147円	▲237,021円

【事故件数】

なし

【内容】

実施主体の日間賀島観光協会が、令和2年11月の道路運送法施行規則改正に伴い、交通空白地における自家用有償旅客運送について「観光旅客その他の当該地域を来訪する者の運送」も対象とすることができるようになったため、国家戦略特区を使わずに道路運送法第79条の2の規定に基づき自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の登録申請をして運行したものです。

1. 運 行 事 業 者：一般社団法人 日間賀島観光協会
2. 運 送 の 区 域：日間賀島地内
3. 有償運送の必要性：①離島という隔絶した区域で島内に交通事業者がなく、参入する事業者もないこと。
②観光客の利便性を確保すること。
4. 収 受 す る 対 価：大人200円/1乗車
小人100円/1乗車

MEMO

町民感謝デーの利用状況について

町民感謝デー（無料デー）の利用状況につきましては下記のとおりです。

【利用切符枚数】

路線	券種	利用枚数		
		R5.10.7(土)~9(月祝)	R6.11.2(土)	R7.11.1(土)
南知多・美浜 環状線	大人	232	40	55
	小人	20	2	1
合 計	大人	232 (平均 77.3 人/日)	40	55
	小人	20 (平均 6.7 人/日)	2	1

【内容】

南知多町コミュニティバス『海っ子バス』は、南知多町地域公共交通網形成計画において公共交通の将来像を「町民の日常生活を支えるとともに観光客等の来街者にも便利な公共交通を、関係者の協働の取り組みによって実現する」と設定してあります。しかし、OD調査等の結果から生活交通としての利用が低いことから、住民の方に乗ってもらえる機会をつくり、今後の利用促進を図るため、「海っ子バス町民感謝デー」を以下のとおり実施しました。

1. 実施日
令和7年11月1日（土）
※南知多町産業まつり
2. 対象者
南知多町の住民
3. 実施内容
1日券（町民感謝デー用）を全戸配布（広報と一緒に）により配布する。
また、防災交通課においても希望者に配布するものとする。
4. 周知方法
チラシ等で周知
5. 費用負担
料金箱への着札において1日券と同じ清算をするものとし、費用の負担は全額南知多町の負担とする。

MEMO

資料4-1

中部様式

令和7年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

南知多町地域公共交通活性化・再生協議会 (南知多町)

平成20年12月19日設置

令和3年3月31日 南知多町地域公共交通計画策定

令和5年6月31日 令和5年度改訂版作成

(計画期間：令和3年4月～令和7年9月)

令和7年6月 2日 第2次南知多町地域公共交通計画策定

(計画期間令和7年10月～令和12年9月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業

・ 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

■ 地域の特徴と背景

人口16,617人、高齢化率39.0%（R2 国勢調査）で今後も人口減少が進行。

■ 公共交通ネットワーク

- ・ 鉄道による河和駅と内海駅、島の玄関口である師崎港を交通結節点とし、海っ子バス南知多・美浜環状線が接続する公共交通ネットワークを形成。運賃は均一運賃。

■ 地域公共交通計画

- ・ 第2次南知多町地域公共交通計画を策定（計画期間：令和7年10月～令和12年9月）

南知多町地域公共交通計画

（計画期間：令和3年4月～令和7年9月）

『公共交通の将来像』

町民の日常生活を支え、来訪者に選ばれるシームレスで便利な公共交通を実現する

● 方針①シームレスな公共交通ネットワークの形成

- 目標1-1 交通結節点の利便性向上
- 目標1-2 新たな技術の活用等によりきめ細かなネットワークを構築

● 方針2 利用しやすい選ばれる公共交通サービスの充実

- 目標2-1 利用しやすい仕組みの構築
- 目標2-2 まちづくりとの連携強化

● 方針3 持続可能な公共交通の確保

- 目標3-1 持続可能な仕組みの構築
- 目標3-2 地域で支える仕組みの継続

■ 現行の公共交通ネットワーク（令和5年10月再編）



参考 第2次南知多町地域公共交通計画（計画期間：令和7年10月～令和12年9月）
 における目標

『目指す姿』 望み選ばれる地域交通をみんなで作る

基本目標

数値目標

1. 気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築

- 海っ子バスネットワークの最適化
- 乗継、環境に配慮した施策の実施
- 情報提供の継続実施

- ①海っこバス利用者数
- ②利用者不満度

2. 海っ子バスに結節する移動手段の充実

- 鉄道事業者との利用促進施策の展開
- 海上交通確保の支援
- 交通空白・不便地域における新たな移動手段の確保

- ③鉄道・船舶の利用者数
- ④地域公共交通の人口カバー率

3. 関係者の共創による利用を支える取組の構築

- M a a Sの構築
- キャッシュレス決済などの利用環境整備
- 観光などの他分野、住民・事業者との「共創」の推進

- ⑤電子チケットの利用率

加えて、モニタリング指標

- ・海っ子バスの収支率
- ・海っ子バスの町民一人当たりの運行費用負担額

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

4

取組	概要	実施結果	考察
海っ子バス南知多・美浜環状線の運行（幹線補助系統）	地域内の幹線公共交通として運行を継続	前年に比べて利用者数が2.9%増加 (271,044⇒278,918)	学生運賃補助などの利用促進策を図った結果、利用者増加。
南知多町学生海っ子バス運賃補助事業の実施	小中学生はバス運賃補助、学生（高校生、大学生等）は定期券購入補助であったが、令和7年4月から運賃補助に統一。	利用者数は、令和6年度（10月～9月）5,172人、令和7年度5,728人、11%増。	利用増。利用手続きが年2回から年1回となり、利用者、担当課の手間が軽減。
海っ子バス障がい者割引の電子チケット導入。 定期券、回数券、一日券の電子チケット割引の実施。	障がい者の方の利便性向上のため、令和7年7月1日から電子チケット導入。また、車内での一日券販売による運転手の業務負担増加、遅延の原因改善のため、令和7年10月1日から電子チケットを10%割引し、利用増を図る。	運賃収入に対する電子チケット割合は、令和6年度（10月～9月）8.1%、令和7年度9.1%、1.0ポイント（12%）アップ。	地域公共交通計画における目標15%に向けて、順調に増加。継続してPRを実施。
AIオンデマンド交通の実証運行（チョイソコみなみちた）を実施（愛知県事業）	交通空白・不便地域における移動の選択肢を提供するため、内海・山海地区、豊浜・豊丘地区で令和7年9月16日～令和8年1月31日まで実証運行。	10月の利用者数は65人。	利用者数は増加傾向。今後、持続可能な仕組みを検討。
日間賀島における自家有償旅客運送の実施（運行主体：日間賀島観光協会）	夏休み期間に、観光客及び住民を対象に島内を循環運行（1日13便、1乗車200円）。1乗車100円を200円に変更。	令和7年度（7月～8月の37日間）の利用者7,219人（昨年度8,775人。17.7%減）	運賃値上げによる影響で利用者減となったが、収支は改善しており、継続運行可能になった。
町民感謝デーの実施	産業まつり（R7.11.1）に海っ子バス無料券を配布	56人が利用。前年度の42人より14人増加。	施策が定着。

南知多町地域公共交通計画（計画期間:令和3年4月～7年9月）の目標達成状況 （主要な項目のみ）

【基本方針①】 ◎：目標達成、○：目標未達成だが昨年より改善、×：未達成

目標1-1 交通結節点の乗降者数

	駅・バス停	計画時 (R2)人/日	目標	1年目 R3年度	2年目 R4年度	3年目 R5年度	4年目 R6年度	5年目 R7年度	評価
乗車人員 鉄道	内海駅	644.5人	維持	450.5人	469.0人	486.0人	441.8人	412.7人	×
	河和駅	2,038.2人	維持	1537.1人	1615.8人	1729.6人	1,803.3人	1,793人	×
乗降者数 海っ子バス	内海駅	48.6人	30%増 (63人)	55.5人	67.8人	60.7人	46.6人	57.2人	○
	河和駅	248.1人	30%増 (323人)	343.3人	349.6人	426.8人	492.3人	554.3人	◎
	豊浜	36.8人	30%増 (48人)	40.5人	46.2人	47.6人	15.6人	14.7人	×
	師崎港	129.9人	維持	204.0人	205.7人	225.2人	225.4人	208.9人	◎
師崎港高速船 利用者数	2,163.7人	維持	1736.7人	1808.2人	2,034.9人	2,096.9人	2,069.5人	×	

※名鉄、高速船はR7年度→R6年度（1年づれる）

考察

- ・鉄道乗車人員：内海駅は名古屋直行便がなくなった影響が継続して減少。河和駅は特急増便による利便性向上により昨年度増加し、本年度は同水準で変化なし。
- ・海っ子バス乗降者数：。小・中・高校・大学生等の運賃補助により駅方向の通学利用などが増加。
- ・高速船利用者数：観光利用などが回復したので増加傾向であるが、昨年度よりは若干減少。

目標 1 - 2 年間利用者数

交通機関名	計画時 (R2)	目標	1年目 R3年度	2年目 R4年度	3年目 R5年度	4年目 R6年度	5年目 R7年度	評価
海っ子バス 豊浜線	70,733人	20%増 314,351人	77,709人	80,565人	101,511人	271,044人	278,918人 (2.9%増)	○
海っ子バス 西海岸線	101,445人		122,013人	132,578人	145,289人			
知多バス 師崎線	90,520人		82,075人	69,719人	52,475人			
3路線合計	262,698人		281,797人	282,862人	299,275人			
名鉄 海上観光船	1,017,003人	維持	792,708人	803,577人	917,230人	955,277人	956,604人	○

考察

- ・海っ子バスは、令和6年度の環状線への再編により豊浜・師崎地区から河和駅への所要時間増となったため前年度より減少したが、令和7年度は小・中・高校・大学生等の運賃補助などにより増加。
- ・高速船利用者数は、観光利用などが回復したので増加傾向であり、昨年度とほぼ同じ。

【基本方針②】

◎：目標達成、○：目標未達成だが昨年より改善、×：未達成

目標 2 - 1 公共交通利用者の満足度

交通機関名	計画時 (R2)	目標	1年目 R3年度	2年目 R4年度	3年目 R5年度	4年目 R6年度	5年目 R7年度	評価
海っ子バス 豊浜線	47.8%	50%	64.0%	51.0%	54.0%	42.5%	41.6%	×
海っ子バス 西海岸線	55.6%	60%	53.3%	52.2%	52.9%			

考察

- ・海っ子バスの環状線への再編により、豊浜・師崎地区から河和駅への所要時間が増加したことから満足度が低下。

目標 2 - 2 海っ子バス土休日の1日平均利用者数

交通機関名	計画時 (R2)	目標	1年目 R3年度	2年目 R4年度	3年目 R5年度	4年目 R6年度	5年目 R7年度	評価
海っ子バス 豊浜線	164.8人	30%増 (214人)	195.6人	193.7人	278.5人	595.5人	663.8人	◎
海っ子バス 西海岸線	196.5人	30%増 (255人)	248.4人	266.2人	292.3人			
合計	361.3人	469人	444.0人	459.9人	570.8人			

考察

- ・海っ子バスの環状線への再編による移動のしやすさ向上、電子チケットのPRなどの施策により、観光利用が増加。

【基本方針③】

◎：目標達成、○：目標未達成だが昨年より改善、×：未達成

目標 3 - 1 海っ子バス収支率

	計画時 (R2)	目標	1年目 R3年度	2年目 R4年度	3年目 R5年度	4年目 R6年度	5年目 R7年度	評価
収支率	22.5%	30%	22.5%	23.6%	28.5%	41.4%	41.6%	◎

目標 3 - 2 町の公共交通費用負担額

	計画時 (R元)	目標	1年目 R2年度	2年目 R3年度	3年目 R4年度	4年目 R5年度	5年目 R6年度	評価
費用負担額	102,361千円	維持	109,946千円	92,435千円	104,772千円	107,341千円	63,874千円	◎

考察

- ・海っ子バスの環状線への再編による経費減、運賃値上げにより、収支率は改善し目標達成。
- ・町の費用負担額は、環状線への再編により減少し目標達成。

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・海っ子バスは、環状線への再編後、利用者数はやや増加。 ・しかし、旧豊浜線沿線及び師崎地区から河和駅までの所要時間増加について、改善要望が多い。 ・鉄道、海上交通ともに観光利用増により利用者数は維持しているが、コロナ前までは戻らず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海っ子バスの利用者増に向けて、以下の施策を継続 <ul style="list-style-type: none"> ○学生（小・中・高校・大学生など）運賃補助 ○海っ子バスの電子チケット（回数券、定期券、一日券）10%割引 ・海っ子バス南知多・美浜環状線のルート・ダイヤの見直しに向けた取組を実施。 ・デマンド交通の実証運行（チョイソコみなみちた）結果を踏まえて、交通空白・不便地域の改善に向けた取組を検討 ・町民感謝デーにおける無料デーを継続 ・バスロケ利用のPR ・キャッシュレス決済の導入検討 <p>⇒第2次地域公共交通計画の目標（海っ子バス・鉄道・船舶利用者数、地域公共交通人口カバー率、電子チケットの利用率）の増加を目指す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・海っ子バスの収支率は改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記と同様。 <p>⇒利用者増による収支率アップを目指す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・町の公共交通費用負担額は、運行当初の年間約2,000万円が約5倍の約1億円に増加したことから、町の財政負担の軽減が課題であった。 ・環状線への再編と運賃値上げにより運行経費の町負担額は約6400万円に減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記と同様。 <p>⇒今後も財政負担の軽減に努め、持続可能性を高める。</p>

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	<p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートやタウンミーティング等で得た意見などを踏まえ、より地域にとって適切な陸上、海上交通の構築に繋がる計画目標や施策の形成に繋がることを期待します。今後も引き続き地域の交通の利用状況等を把握し、より利用者に親しまれる公共交通網が構築されることを期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> 町民アンケート調査などで要望の多い、旧豊浜線の復活、師崎地区から河和駅までの所要時間短縮の意見を踏まえ、旧豊浜線の運行とそれによる環状線の一部ルート変更（豊丘地区の迂回ルートを削除）を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 海っ子バスの環状線ルート変更（左記）、豊浜線の運行に向けた合意形成、手続きを実施。

※前回：7年3月27日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	<p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長大路線として再編され、また、運賃体系も大きく変わった海っ子バスについては、引き続き、タウンミーティング等による地元の利用者の意見や声を参考とし、公共交通ネットワークとしての効果検証や分析、課題の確認など、フォローアップに努められることを期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民アンケート調査、観光客WEBアンケート調査、海っ子バス利用者アンケート調査、タウンミーティング、高齢者サロン参加者アンケート調査により意見を把握、分析した結果を第2次地域公共交通計画に反映。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次地域公共交通計画の事業を計画的に実施。
	<ul style="list-style-type: none"> ・また、観光客の利用と比べ、町内の短い区間の利用が想定される地元利用者においては負担が大きくなっている可能性もあるため、必要に応じ、町民など地元利用者に寄り添った施策の追加等に係る検討についても期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高校・学生等運賃補助を実施。 ・電子チケット10%割引を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済を検討。
	<ul style="list-style-type: none"> ・再編後の海っ子バスが観光や日常生活の足として定着するよう、引き続き、観光客や住民への周知や利用促進に努められることを期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海っ子バス無料デー、タウンミーティング、総合時刻表の配布などを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済の検討、電子チケットの利用をPR。

※前回：6年3月21日

■評価・改善のスケジュール

		前計画期間				計画期間				次期計画期間					
		令和6年度				令和7年度～10年度				令和11年度				令和12年度	
計画・事業のPDCAサイクル	Plan (計画)	地域公共交通計画の検討・策定								次期計画の検討・策定					
	Do (実施)					計画、事業の実施 ●バス00調査 利用者アンケート				計画、事業の実施 ●バス00調査 利用者アンケート					
	Check (評価)					事業、目標達成状況の評価				事業、目標達成状況の評価					
	Action (改善)					改善策の検討				改善策の検討					
主な行事						■国庫補助金に係る計画の認定 ■当該年度の自己評価 ■第三者評価				■国庫補助金に係る計画の認定 ■当該年度の自己評価 ■第三者評価					
協議会						● ● ●				● ● ●					
部会		●				●									

■協議会等の開催状況

	開催日	主な議題
令和6年度第3回協議会	令和7年1月10日	地域公共交通計画（素案） 地域公共交通確保維持改善事業の自己評価
令和6年度第4回協議会	令和7年3月25日	南知多町地域公共交通計画（案） 令和7年度予算、離島交通検討部会設置要領
令和7年度第1回協議会	令和7年6月2日	南知多町地域公共交通計画の策定 令和6年度決算、バス停の新設・変更、日間賀島ぐるりーバスの運賃変更
令和7年度第2回協議会	令和7年7月31日	AIオンデマンド交通の実証事業
令和7年度第3回協議会	令和7年1月9日	地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価

MEMO

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料4-2

令和 8年1月 9日

協議会名: 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
レスクル株式会社	海っ子バス南知多・美浜環状線 (師崎港～河和駅～内海駅～師崎港)	【期待する取組】 ・アンケートやタウンミーティング等で得た意見などを踏まえ、より地域にとって適切な陸上、海上交通の構築に繋がる計画目標や施策の形成に繋がることを期待します。 今後も引き続き地域の交通の利用状況等を把握し、より利用者に親しまれる公共交通網が構築されることを期待します。 ⇒町民アンケート調査などで要望の多い、旧豊浜線の復活、師崎地区から河和駅までの所要時間短縮の意見を踏まえ、路線やダイヤの見直しを検討。	A評価 補助対象期間の開始日以来、運休・遅延等はなく、計画どおり適切に実施されている。	A評価 ・海っ子バス利用者数は278,918人で令和7年度の目標(276,700人)達成。 ・収支率、公的負担額(6,387万円)は、目標達成。 【指標】 運行回数 32回/日 平均乗車密度(実績) 4.1 輸送量(計画) 49.6 (実績) 130.8 収支率(計画) 30.0% (実績) 41.6%	海っ子バスの利用促進及び鉄道・高速船・タクシーとの連携による地域公共交通ネットワークの充実に向けて、以下の取組を実施。 ・学生(小・中・高校・大学生等)運賃補助 ・海っ子バスの電子チケット(回数券、定期券、一日券)10%割引 ・海っ子バス南知多・美浜環状線のルート・ダイヤの見直しに向けた取組を実施。 ・デマンド交通の実証運行(チョイスコみなみちた)結果を踏まえて、交通空白・不便地域の改善に向けた取組を検討 ・町民感謝デーにおける無料デーを継続 ・バスロケ利用のPR ・キャッシュレス決済の導入検討

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 8年 1月 9日

協議会名:	南知多町地域公共交通活性化・再生協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>南知多町地域公共交通計画(計画期間:令和3年4月~令和7年9月)</p> <p>(1)目指すべき将来像 『町民の日常生活を支え、来訪者に選ばれるシームレスで便利な公共交通を実現する』 既存の鉄道・バス・タクシー・航路の利用促進に努めるとともに、これらの特徴を活かしながら、MaaSの取組、自動運転等の新たな技術の活用、グリーンスローモビリティ等の新たな運行形態の導入等により、シームレスで利便性の高い公共交通を確保します。 また、町民や交通事業者等の関係者と協働の取組を進め、町民の日常生活を支えるとともに、来訪者にも選択していただける持続性のある公共交通の構築を目指します。</p> <p>(2)将来像の実現に向けた方針と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●方針1 シームレスな公共交通ネットワークの形成 <ul style="list-style-type: none"> 目標1-1 交通結節点の利便性向上 目標1-2 新たな技術の活用等によりきめ細かなネットワークを構築 ●方針2 利用しやすい選ばれる公共交通サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> 目標2-1 利用しやすい仕組みの構築 目標2-2 まちづくりとの連携強化 ●方針3 持続可能な公共交通の確保 <ul style="list-style-type: none"> 目標3-1 持続可能な仕組みの構築 目標3-2 地域で支える仕組みの継続 <p>(3)事業実施の必要性 上記の方針と目標に基づいて各種事業を計画的に実施し、PDCAサイクルによる評価改善を繰り返すことによって、将来像の実現を目指します。</p> <p>南知多町地域公共交通計画(計画期間:令和7年10月~令和12年9月)</p> <p>(1)目指す姿 『望み選ばれる地域交通をみんなで作る』</p> <p>(2)基本目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築 <ul style="list-style-type: none"> ○海っ子バスネットワークの最適化、○乗継、環境に配慮した施策の実施、○情報提供の継続実施 2. 海っ子バスに結節する移動手段の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道事業者との利用促進施策の展開 ○海上交通確保の支援 ○交通空白・不便地域における新たな移動手段の確保 3. 関係者の共創による利用を支える取組の構築 <ul style="list-style-type: none"> ○MaaSの構築 ○キャッシュレス決済などの利用環境整備 ○観光などの他分野、住民・事業者との「共創」の推進 <p>(3)事業実施の必要性 上記の基本目標に基づいて各種事業を計画的に実施し、PDCAサイクルによる評価改善を繰り返すことによって、将来像の実現を目指します。</p>

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

南知多町地域公共交通計画の評価等結果（令和6年10月～令和7年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p>交通結節点の乗降者数： ①名鉄内海駅乗車人員： 644.5人/日（R元年度）⇒維持（R7年度） ②名鉄河和駅乗車人員： 2,038.2人/日（R元年度）⇒維持（R7年度） ③内海駅バス乗降者数： 48.6人/日（R2年度）⇒30%増（R7年度） ④河和駅バス乗降者数： 248.1人/日（R2年度）⇒30%増（R7年度） ⑤豊浜バス乗降者数： 36.8人/日（R2年度）⇒30%増（R7年度） ⑥師崎港バス乗降者数： 129.9人/日（R2年度）⇒維持（R7年度） ⑦師崎港の船の利用者数： 2,255.0人/日（R元年）⇒維持（R7年度）</p>	<p>令和5年10月に海っ子バスを環状線に再編。 海っ子バスは、河和駅、内海駅で鉄道との乗継ダイヤを設定。また、師崎港においては高速船との乗継を考慮。 海っ子バス一日券などの電子チケットを案内。 バスロケーションシステムの利用を案内。</p>	<p>各交通事業者が有する乗降データを用いて計測</p>	<p>・令和7年10月時点の状況 ①名鉄内海駅乗車人員：412.7人/日 （目標未達成、昨年度より減少。名古屋直通便がなくなった影響） ②名鉄河和駅乗車人員：1788.5人/日 （目標未達成、昨年度と同水準。特急が1時間2便に増加による効果） ③内海駅バス乗降者数：57.2人/日 （目標未達成、昨年度より増加。名鉄内海駅のダイヤ変更の影響） ④河和駅バス乗降者数：554.3人/日 （目標達成。河和駅の便数増による効果） ⑤豊浜バス乗降者数：14.7人/日 （目標未達成、昨年度より減少。旧豊浜線がなくなった影響） ⑥師崎港バス乗降者数：208.9人/日 （目標達成。町民の利用減） ⑦師崎港の船の利用者数：2069.5人/日 （目標未達成、昨年度より若干減少。町民の利用減） ・鉄道駅はダイヤ変更、海っ子バスは環状線への再編による影響が大きい。海っ子バスは学生等の運賃補助による効果で駅方面への利用が増加。船の利用は、町民の利用減と想定。</p>	<p>・令和5年10月より、知多バス師崎線の撤退に対応し、海っ子バスを南知多・美浜環状線に再編を実施した。これにより、一部地域では海っ子バスの所要時間増となり、また、交通空白地が発生している。このため、さらなる利用者増を目指した取組が必要。 ○小・中・高校・大学生などの運賃補助を継続実施 ○海っ子バスの電子チケット（回数券、定期券、一日券）10%割引を周知 ○海っ子バス南知多・美浜環状線のルート・ダイヤの見直しに向けた取組を実施。 ○デマンド交通の実証運行（チョイソコみなみちた）結果を踏まえて、交通空白・不便地域の改善に向けた取組を検討（デマンド交通あるいはライドシェア） ○町民感謝デーにおける無料デーを継続 ○バスロケ利用のPR ○キャッシュレス決済の導入検討</p>	<p>第2次地域公共交通計画策定により、次年度は変更。</p>

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
年間利用者数： ①海っ子バス262,698人（R2年度。知多バス師崎線を含む）⇒20%増（R7年度314,351人） ②名鉄海上観光船：1,017,003人（R2年度）⇒維持（R7年度）	令和5年10月から海っ子バスを環状線に再編。 町内の小中学生海っ子バス運賃補助、学生の手紙バス通学定期券購入補助を実施し、小中学生、高校生、大学生などの利用を促進。 海っ子バス一日券などの電子チケットを案内。 海っ子バス障がい者割引の電子チケット導入。 バスロケーションシステムの利用を案内。	各交通事業者が有する乗降データを用いて計測	・令和7年10月時点の状況 ①海っ子バス：278,918人（目標未達成、昨年度より増加） ②名鉄海上観光船：956,604人（目標未達成、昨年度より増加） ・海っ子バスは、旧豊浜線の廃止、師崎地区から河和駅への所要時間増加による影響で利用者数が減少したが、小・中・高校生・大学生等の運賃割引などにより増加。 ・名鉄海上観光船は、観光利用の回復で増加。	同上	第2次地域公共交通計画策定により、次年度は変更。
公共交通利用者の満足度： ①海っ子バス： 豊浜線47.5%、西海岸線55.6%（R2年度）⇒50%以上（R7年度） ②高速船（R2年度）⇒55%以上（R6年度）	同上	海っ子バスについては、利用者アンケート調査を毎年実施	・令和7年10月時点の状況 ①海っ子バス：41.6%（目標未達成、昨年度より若干低下。再編による影響が大きい。） ②高速船：33.5%（目標未達成。高速船利用者で改善要望のない人の割合（町民アンケート調査による）） ・海っ子バスは、環状線に再編したことによる所要時間増、運賃増加により満足度が低下。 ・高速船は運賃の不満が多い。	・利用者のニーズを聞き、可能な限り対応することにより満足度向上を目指す。 ・高速船については、離島交通検討部会を開催し、満足度向上策を検討・推進する。	第2次地域公共交通計画策定により、次年度は変更。
海っ子バス、土休日の1日平均利用者数： 豊浜線164.8人/日、西海岸線196.5人/日（R2年度）⇒30%増（R7年度）	観光客に向けた情報提供の推進（Google等の検索システム、電子チケット、バスロケーションシステム等）、海っ子バス車内モニターの活用。	海っ子バスカウンターデータを用いて計測	・令和7年10月時点の状況 ①海っ子バス：663.8人/日 ・海っ子バスの環状線への再編による移動のしやすさ向上、電子チケットのPRなどの施策により、観光利用が増加。	・引き続き、キャッシュレス決済の導入、企画切符の充実など、観光客に向けた施策を実施。	第2次地域公共交通計画策定により、次年度は変更。

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
海っ子バスの収支率： 22.5% (R2年度) ⇒30% (R7年度)		令和6年度の収支データを用いて計測	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月時点の状況 ①41.6% (目標達成) 環状線への再編による運行経費減と運賃値上げにより収支率は向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の増加により収支率向上を目指す。 利用促進活動を継続するとともに、経費負担の軽減に努める。 	第2次地域公共交通計画策定により、次年度は変更。
町の公共交通費用負担額： 102,360,887円 (R元年度) ⇒軽減 (R7年度)	海っ子バスの再編による運行経費減と運賃値上げを実施。	令和5年度の南知多町一般会計決算より	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月時点の状況 ①63,874千円 (目標達成) 環状線への再編による運行経費減と運賃値上げにより町の費用負担額は減少。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の増加により町の費用負担額の軽減を目指す。 利用促進活動を継続するとともに、経費負担の軽減に努める。 	第2次地域公共交通計画策定により、次年度は変更。
タウンミーティング (海っ子バスを考える会) の開催回数：年間2回 (R元年度) ⇒年間2回 (R7年度)	タウンミーティングの継続実施。	実施回数	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月時点の状況 ①令和7年9月に高齢者サロン3カ所で開催。令和8年1月に地区別に開催を予定 ②令和7年8月～9月に17カ所でAIオンデマンド交通実証運行 (チョイソコミなみちた) の説明会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 町民の意見を把握することは重要なため、タウンミーティングを継続実施する。 	第2次地域公共交通計画策定により、次年度は変更。
地域と連携した利用促進活動の開催回数：年間3回 (R元年度) ⇒年間3回以上 (R7年度)	地域と協働で開催する利用促進活動の実施。	実施回数	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月時点の状況 ①令和6年11月に町民感謝デーを実施 ②令和6年11月にシルバーバス教室を実施 (きずなの会主催) ③令和7年7月に子供バス教室を実施 (きずなの会主催) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、まちづくり協議会等と連携することで、地域の高齢者や子供に対して、継続して利用促進事業を実施していく。 中学校統合に伴い中学生のバス利用が増えていたため、継続して中学生への啓発を実施していく。 	第2次地域公共交通計画策定により、次年度は変更。

MEMO

南知多町地域公共交通計画に基づく施策案

課 題

1. 地域特性からの課題
 - (1) 人口減少、高齢の振興への対応
 - (2) 観光、交流促進への対応
 - (3) 通学、通勤への対応
 - (4) 公共施設再配置への対応
2. 公共交通の利用実態からの課題
 - (1) 移動ニーズの変化への対応
 - (2) 公共交通の担い手確保への対応
3. 町民・観光客のニーズからの課題
 - (1) 名鉄利用の促進
 - (2) 海っ子バス、高速船のサービスに対する不満への対応
 - (3) 地域特性にあった移動手段確保
 - (4) 観光利用の促進
4. 持続可能な地域公共交通の形成に向けた課題
 - (1) MaaSによる利便性向上
 - (2) リ・デザイン（再構築）の取り組みを促進
 - (3) 財政負担の軽減

基本目標

1. 気兼ねなく利用でき、使いやすい海っ子バスの構築
 - 海っ子バスネットワークの最適化
 - 乗継、環境に配慮した施策の実施
 - 情報提供の継続実施
2. 海っ子バスに結節する移動手段の充実
 - 鉄道事業者との利用促進施策の展開
 - 海上交通確保の支援
 - 交通空白・不便地域における新たな移動手段の確保
3. 関係者の共創による利用を支える取組の構築
 - MaaSの構築
 - キャッシュレス決済などの利用環境整備
 - 観光などの他分野、住民・事業者との「共創」の推進

事業概要

- 1-1 ニーズに対応した海っ子バスの形成
- 1-2 交通結節点での乗継利便性の増進
- 1-3 環境に配慮した車両導入
- 1-4 総合時刻表の作成、デジタルコンテンツの充実
- 2-1 鉄道事業者との利用促進施策の展開
- 2-2 海上交通確保の支援
- 2-3 交通空白地・不便地域における移動手段の確保
- 3-1 MaaSの構築
- 3-2 利用環境の整備
- 3-3 タウンミーティングの継続実施
- 3-4 関係者の連携・協働による利用促進の取組
- 3-5 運転免許証自主返納の促進

今後の施策案（内海・山海）

課題

公共施設再配置への対応
地域特性に合った移動手段の確保

基本目標

交通空白・不便地域における新たな移動手段の確保

事業概要

交通空白地や海っ子バスを利用しづらい地域において、新たな移動手段の検討、導入の検討

ライドシェア（自家用有償旅客運送）の検討

共助による新たな移動手段の検討

例：自家用有償旅客運送など

検討項目

- ・ 車両
- ・ 運行管理
- ・ 運転手
- ・ 運賃
- ・ 費用負担

今後の施策案（豊浜・豊丘）

<p>課題</p> <p>海っ子バス、高速船のサービスに対する不満への対応</p>	<p>海っ子バスの新路線として豊浜線復活を検討</p> <p>環状線の中に入り込む路線の廃止検討</p>
<p>基本目標</p> <p>海っ子バスネットワークの最適化</p>	
<p>事業概要</p> <p>海っ子バスのルート、バス停などのネットワークの最適化</p>	

例：旧豊浜線復活
環状線から乙方・運動公園前を廃止

検討項目

- ・ 車両
- ・ 運転手
- ・ 財政負担

今後のスケジュール

日程	項目	備考
12月17日（火） ～1月30日（金）	チョイソコアンケート実施期間	
1月26日（月）	タウンミーティング（豊浜）	役場大会議室
1月28日（水）	タウンミーティング（師崎）	師崎公民館
1月30日（金）	タウンミーティング（内海）	内海防災センター
2月 3日（火）	タウンミーティング（日間賀）	日間賀公民館
2月 5日（木）	タウンミーティング（篠島）	篠島開発総合センター
1月中	高校生等へのアンケート	

- ・ チョイソコアンケート対象者は利用登録者全員
- ・ タウンミーティングの目的は、現状の公共交通、今後の施策案について意見聴取
- ・ 高校生等へのアンケートはSEA S CARD所有者（高校生以上）が対象